

横浜市が発行する ESG 債（サステナビリティボンド）への投資について

株式会社ハリマビステム（代表取締役社長 免出 一郎、以下「当社」という）は、このたび、横浜市が発行するサステナビリティボンド（横浜市第 62 回 5 年公募公債（サステナビリティボンド）、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

サステナビリティボンドは、調達資金の使途が、環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクト並びに社会課題の解決を目指すソーシャルプロジェクトの双方に充当される債券です。

本債券は、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則 2021」、「ソーシャルボンド原則 2023」及び「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」、環境省の「グリーンボンドガイドライン（2022 年版）」並びに金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（2021 年版）」に適合している旨、第三者機関からセカンド・パーティー・オピニオン（SPO）を取得しています。（SPO 発行者：株式会社格付投資情報センター（R&I））

当社は、中期経営計画（2023～2025 年度）において「SDGs の推進」を掲げております。地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点に立ち、当社に関わる全ての方から『ハリマで良かった！』と言ってもらえる会社を目指し、SDGs と親和性のある ESG 投資等にも、取り組んでまいります。

【本債券等の概要】

銘 柄	横浜市第 62 回 5 年公募公債（サステナビリティボンド）
年 限	5 年（満期一括償還）
発 行 日	2023 年 12 月 22 日（金）
発 行 総 額	50 億円
当社投資額	50 百万円

【フレームワークにおける充当事業分類及び事業内容】

分 類	事業内容
グリーン適格プロジェクト	神奈川東部方面線整備、市役所 RE100 推進事業、老朽校舎改修事業（LED 化改修工事）、公園整備事業（（仮称）旧上瀬谷通信施設公園）、河川整備、下水道整備
ソーシャル適格プロジェクト	インフラ施設の整備・改修、保育所等整備、特別養護老人ホーム整備、地域ケアプラザ整備、小中学校整備、児童福祉施設整備、障害者支援施設整備（松風学園再整備）

（ご参考）当社のサステナビリティへの取り組みについて <https://www.bstem.co.jp/sustainability/>